

2018年度トピックス

2018年度の主な取組み・トピックスについて、次のとおりお知らせします。

2018年
4月

中期経営計画2020 ALL for ALL. ひとつひとつの、夢によりそう。を発表

前中期経営計画(2015年度～2017年度)の取組みにより、経営目標としていた保有年換算保険料(定額保険)の反転、および利益水準の確保を実現することができました。

中期経営計画2020では、「ALL for ALL. ひとつひとつの、夢によりそう。」をスローガンとして、「再生」から「成長」ステージへの移行を目指し、営業職員チャネルをコアとした「販売分野の成長」と、銀行窓販・代理店および日本生命への商品供給を通じた「元受分野の成長」の両輪に取り組み、会社成長を最大化させてまいります。

2018年
5月

無配当低解約返戻金型外貨建終身保険 (予定利率毎月更改型) 「フラット外貨終身」を発売

保険料払込期間を通じて外貨建の保険料を円に換算するレートを固定する機能を備えた、新しい平準払の外貨建終身保険を発売しました。

毎回の保険料が円でご契約時に確定するので、セカンドライフや教育資金の計画的な準備、あるいは生前贈与の手段としてご利用いただくことができます。



2018年
6月

第45回苗木プレゼント実施

苗木プレゼントは、「こわさないでください。自然。愛。いのち。」をテーマに、“緑・自然を守り、親から子へと美しい緑の街を伝えたい”という願いを込めて、1974年から開始しています。

45年目となる2018年度では、贈呈した苗木の本数は、累計512万本となりました。今後も社会の一員として、一人ひとりができることを考えながら社会に貢献してまいります。



2018年
10月

無配当一時払外貨建生存給付金付特殊養老保険 「ドリームロード」の商品改定について

一時払外貨建商品「ドリームロード」について、「短い期間でまとまった資金を効率的に運用したい」というお客さまのニーズにお応えすべく、「保険期間5年」の取扱を開始しました。

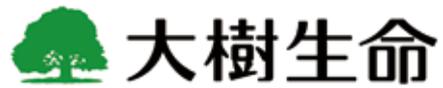
また、満期保険金を指定通貨建の終身保障へ無選択移行できる「災害保障付外貨建終身保障移行特約」を新設しました。



2018年
11月

「大樹生命」への社名変更を発表

2019年4月1日より三井生命から「大樹生命」へ社名を変更することを発表しました。
新社名には、“大樹”のように「しっかりと大地に根を張り、晴れの日も雨の日もしっかりとお客さまを守り、多くの人が集まってくる保険会社を目指そう」という想いを込めています。



2019年
1月

HDI格付け最高ランクの『三つ星』評価を5年連続で獲得

HDI-Japan主催の2018年度公開格付け調査「問合せ窓口」部門において、最高ランクである『三つ星』評価を5年連続で獲得しました。当社コールセンターの前向きで明るく対応する姿勢と、豊富な知識で説得力のある提案ができる点が高く評価されました。



2019年
2月

「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)」(ホワイト500)の認定

経済産業省が日本健康会議と共同で主催する健康経営優良法人認定制度において、「健康経営優良法人2019(大規模法人部門)」(ホワイト500)の認定を受けました。
従業員の仕事・生活の質・社会福祉の更なる向上に向け、心身の健康増進に取り組んでいます。



2019年
4月

「大樹セレクト 働く人応援ほけん」新発売

近年、病気やケガで就業不能状態が継続した場合の保障ニーズが高まっており、働く人の収入の減少をサポートする新特約「くらしエール(正式名称：継続治療後収入サポート特約019)」を開発しました。当商品は、入院または所定の在宅療養が30日以上継続したときにその後の状態にかかわらず1年間毎月給付金をお受け取りいただける保障内容となっています。2019年4月から発売を開始し、「大樹セレクト」に新特約を付加した新商品で働く世代の方々に応援してまいります。

